



## 中部部報 第2号

2017. 7. 1～2018. 6. 30

### 主 題

- 国際会長 「ともに光の中を歩もう」  
アジア会長 「ワイズ運動を尊重しよう」  
西日本区理事 「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」  
中部部長 「愛し合い、助け合い、心はいつも青春！」

ワイズメンズクラブ西日本区中部各クラブメンバーの皆様

中部部長 山内ミハル



明けましておめでとうございます。新しい年を迎えて、皆様のご多幸とご活躍をお祈りいたします。日頃はワイズメンズクラブの活動にご尽力いただきますこと、感謝いたします。

9月に中部部会を開催させていただき、ホッとする間もなく、第2回評議会と中部合同メネット会開催のため、会員数が少なく、平均年齢の高い金沢クラブの総力を挙げて頑張りましたが、なかなか思うように事が運ばず、「部報第2号」の発行が遅れましたことをお詫びいたします。西中部書記の方では、11月発行の予定で原稿が集められていたのに、私が部長の挨拶状が必要なことを失念しており、この時期になってしまいました。申し訳ありません。遅まき

ながら、「第2回評議会」の報告と「中部合同メネット会」の報告をお送り致します。

9月～11月には西日本区9部のすべての部会を成功裏に終える事ができました。10月には早々と次期区役員会が開催され、次期に向けて活動方針・計画がすすめられています。11月には第2回区役員会が開催され、上半期の活動報告と今後の予定についての話し合いが持たれました。

区では今後、3月に次期会長・主査研修会、4月には第3回役員会と第1回準備役員会が持たれ、6月に第4回役員会・第2回準備役員会を行い、引き続き西日本区大会を神戸で開催することが計画されています。

本年もどうかよろしく願いいたします。

2017. 7. 1～2018. 6. 30 第2回評議会報告



2017-2018 第2回中部評議会が、金沢の奥棧敷の湯涌温泉お宿やましたで開かれた。こんな不便なところにも関わらず、中部役員、各部会長や主査の皆さん、又、遠藤西日本区次期理事も参加されたのは、感謝にたえない。

さて、会議は13時30分から方形に並べられたテーブルとイスを備えた大きな和室で開かれた。数澤輝夫事務局長の開会の祈りに続いて山内部長の挨拶があり、算定出席者数、出席者数共に15名、委任状2名の計17名で、会は成立した。議長は部長が務め、各事業主査、各クラブ会長の報告がなされた。これに関しては、別にまとめて報告されている。

この後、第1号議案「2016-2017 中部部会決算」が川口・前部長から報告され認められた。続いて第2号議案「ワイズ将来構想特別委員会からの基本計画案」が荒川監事から紹介された。その後、第3号議案として「次期中部役員等候補検討の件」が柴田次期部長から提案され、認められた。

会議では、部長の時間的・経済的な負担の大きさが話題となり、今後この問題を緩和してゆく検討を進めようという提案がなされた。



荒川監事からは、中部会員数の変化の様子がグラフで示され、幾つかのクラブ会員数の近年の急速な減少と西日本区における平均年齢分布表が示され、中部では名古屋グランパスクラブが最も若くて55.5才、金沢犀川クラブが72.6才、金沢が69.1才と高齢化が進んでおり、出来るだけ若い会員の増強の必要性が改めて訴えられた。

報告者 中部書記 西 信之

## 2017. 7. 1~2018. 6. 30 第 21 回中部合同メネット会報告



中部合同メネット会は11月18日(土)～19日(日)に金沢の湯涌温泉「お宿やました」を会場に「第2回中部評議会」と同日に開催いたしました。神戸クラブより中道メネット事業主任はじめ6人のメネットさん、西日本区大野理事、進藤書記、大阪より遠藤次期理事、評議会出席の中部役員の方々が「合同メネット会」にも参加されました。開会式に続いての講演会では、今期の「メネット事業国内プロジェクト」の事業方針である「子どもの貧困」について学べるよう、「金沢・能登フードバンク」代表の津田たまえ氏を講師に招いて講演していただきました。講師ご自身は重度の障害者でありながら、フードバンクの支援活動に長年携わって来られましたが、大きな施設への支援ではなく、目に見えないところで生活困窮に陥っている家庭、その子どもたちを支援するために、3年前現在の「NPOフードバンク金沢・能登」を立ち上げ、代表としてボランティアの人たちとともに支援活動をしていらっしゃいます。講演を通して、この地域での知られざる子どもたちの貧困の状況を知ることが出

来ました。「フードバンクはなくなることが一番幸せなこと」、しかし、6人に1人が貧困という現実に関心であってはならないと、改めて今後のメネット活動にどう生かしていくかを考える機会となりました。

夜の懇親会では、久しぶりに温泉でゆっくりくつろいで、美味しい料理と美酒に酔い、夜が更けるまで楽しい交流の輪が深まりました。

○子どもの居場所づくりをしている団体を支援

子どもをサポートしている地域団体の支援については、名古屋 YMCA が昨年より開催している「学童キャンプ」が、所得に応じて参加費を全額、または半額補助しているとのこと、子どもの貧困に対する支援活動でもあり、全国でも名古屋 YMCA が初めての取り組みとことです。メネット支援金の額によっては大きな寄付は期待できないかも知れませんが、今後のメネット支援事業として定着することを願っています。

報告者 中部メネット主査 數澤 淑子



続いて開かれた懇親会での一コマ。

## 役員・主査・会長報告

### 第2回中部評議会に参加して

次期中部部長 柴田洋治郎



今回の評議会において配布された、「西日本区の発展を希求するビジョンと基本計画」に関連して、雑駁ではありますが、私の思ったことを少し述べます。以前からワイズメンズクラブ(以下、‘ワイズ’という)で課題となっていたことがよく纏められており、

改めて自分自身の啓発の材料になったと思います。

この計画に関し、現在の我が国の社会状況として、少子高齢化、低成長経済は所与として考え、これに関連する社会矛盾をワイズも少なからず受けていると認識しなければならないと思います。従って、中部におけるクラブの高齢化、小規模化の問題も時代の流れと捉えつつ、現状では、特色あるクラブ作りに心がけ、次のステージに進む準備をしておくのが、無理のないクラブ運営の在り方と思われます。

現在、社会矛盾が山積している我が国において、その対策

を担うのは主に政治や行政といった官の役割ですが、ワイズやYMCA等の非政府組織は資金や物量の面では官には叶わないものの、福祉、教育、環境等といった分野で、血の通った、暖かい手を差し伸べる奉仕という形で公共の役割を果たすことができます。更に、我が国においては、東日本大震災という痛ましい出来事がありました。日本人同士の信頼やお互い様という利他的な行為が海外でも賞賛されるほど、この国には伝統的に誇るべき社会関係資本が形成されております。従って、ワイズもYMCAも欧米発の団体ですが、我々会員には、奉仕や人間同士の絆に対する、誇れるDNAが宿っており、ワイズやYMCAの活動は、やり方次第で、この国でより広く受け入れられる余地があると思われま

す。次に、ワイズやYMCAは他の奉仕団体と違い、元来キリスト教をバックボーンとした組織であることから、厳しい枠内に縛られ、会員増強に制約があったことは間違いないと思われま

す。しかし、ワイズの持つ理念は大きな特長でもあり、今後もこの理念は継続されるべきと思います。反面、西日本区並びに中部の各クラブには各々の個別事情があるものの、ワイズの維持拡大は喫緊の課題であり、過去の柵を捨てて、新たな発想に基づいた、柔軟な組織作りをする時期に来ていると思われま

### 中部Yサ・ユース報告 (前期)

Yサ・ユース事業主査 小林滋記

金沢地区

6/19 金沢YMCA会員総会  
金沢YMCAわいわい農園活動

三重地区

10/22 YMCA福祉会「秋祭り」模  
擬店等協力



11/3 チャリティーウォーク(あすなろ鉄道)

名古屋地区

YMCA日和田学童キャンプ支援  
YMCA名古屋市市内中学バスケットボール大会  
日韓ユースセミナー  
名古屋YMCA大会

名古屋YMCA南山バザー

名古屋YMCAチャリティーラン

また今YMCAでは「ポジティブY」の愛称で新たなブランドロゴを作成し、みつかる。つながる。よくなっていく。をブランドスローガンとしてスタートしました。ワイズメンも協働して連携を深めて下さい。

## 地域奉仕・環境事業資金援助について

中部地域奉仕・環境事業主査 浅野 猛雄



吉田由美事業主任より11月15日付で地域奉仕・環境事業資金援助についての事業通信が配信されました、過日、金沢で開催された中部評議会に於いて出席の各クラブ会長様にはそれぞれお渡しをし(欠席のクラブ会長様には郵送を致しました。

私達ワイズメンズクラブが行なっている活動の中で、申請を行なえばその事業の内の幾らかは西日本区から資金の補助が得られる制度が有ります、ただ、この制度には事業を行うために事業名、事業概要、目的、実施日時、場所、事業スケジュール、参加対象者、主催、共済、後援者、事業予算等の申請書類を事業の1ヶ月前までに提出しなければなりません、また、事業後の申請は行なっていません、今年度はすでに約半分近く経過をしていますので、すでに経過をした事業については次年度に是非申請して下さい。

## 中部メネット主査活動報告

中部メネット主査 数澤淑子



これまでの中部メネット事業主査の活動報告

①西日本区メネット事業主査研修会・懇親会に出席

7月 1日(土)午後 1:00~4:30 神戸YMCA三ノ宮会馆において研修会。

今期のメネット事業国内プロジェクトのテーマ「子どもの貧困」

についてWACCA(子どもの居場所)代表の茂木美知子氏、フードバンク関西の理事長浅葉恵氏の2人の講師の講演があり、今後のメネット活動の方向性が示されました。

## ②クラブ訪問について

○9月24日(日)に金沢犀川クラブの9月第一例会に出席しました。メネット月間の特別例会として「ヤマト糶パーク醬蔵(ヒシホグラ)」で昼食会、その後、大野からくり記念館を散策しました。メネット、マゴメットなど14名の参加があり和やかな昼の例会でした。

○10月10日(火)に名古屋クラブ第一例会に、山内部長のクラブ訪問に同行しました。

中部において金沢は他クラブのメネットとの交流が地理的に難しいのですが、久しぶりに名古屋クラブのメネットさんたちにお会い出来て嬉しく思いました。11月18日(土)~19日(日)開催の「中部合同メネット会」には残念ながら名古屋からの参加者はありませんでしたが、名古屋クラブのメネットさん手作りのハーブティーと可愛いクリスマスカードを「合同メネット会」参加の皆さんへと、谷川クラブ会長に託して下さいました。名古屋のメネットの皆様のお気持ち十分伝わりました。感謝申し上げます。

## 「メネット事業国内プロジェクト」への支援活動

### ○第21回中部合同メネット会の開催

中部合同メネット会は11月18日(土)~19日(日)に金沢の湯涌温泉「お宿やました」を会場に「第2回中部評議会」と同日開催いたしました。神戸クラブより中道メネット事業主任はじめ6人のメネットさん、西日本区大野理事、進藤書記、大阪より遠藤次期理事、評議会出席の中部役員の方々が「合同メネット会」にも参加されました。開会式に続いての講演会では、今期の「メネット事業国内プロジェクト」の事業方針である「子どもの貧困」について学べるよう、「金沢・能登フードバンク」代表の津田たまえ氏を講師に招いて講演していただきました。講師ご自身は重度の障害者でありながら、フードバンクの支援活動に長年携わって来られましたが、大きな施設への支援ではなく、目に見えないところで生活困窮に陥っている家庭、その子どもたちを支援するために、3年前現在の「NPO フードバンク金沢・能登」を立ち上げ、代表としてボランティアの人たちとともに支援活動をしてい

っしゃいます。講演を通して、この地域での知られざる子どもたちの貧困の状況を知ることが出来ました。「フードバンクはなくなるが一番幸せなこと」、しかし、6人に1人が貧困という現実に関心であってはならないと、改めて今後のメネット活動にどう生かしていくかを考える機会となりました。

夜の懇親会では、久しぶりに温泉でゆっくりくつろいで、美味しい料理と美酒に酔い、夜が更けるまで楽しい交流の輪が深まりました。

#### ○子どもの居場所づくりをしている団体を支援

子どもをサポートしている地域団体の支援については、名古屋 YMCA が昨年より開催している「学童キャンプ」が、所得に応じて参加費を全額、または半額補助しているとのこと、子どもの貧困に対する支援活動でもあり、全国でも名古屋 YMCA が初めての取り組みとのこと。メネット支援金の額によっては大きな寄付は期待できないかも知れませんが、今後のメネット支援事業として定着することを願っています。

## 活 動 報 告

金沢クラブ会長 幸正 一誠

キックオフから9月までは中部部会とクラブ70周年祝賀会開催に向け、全員でその準備に勤しみました。少数のメンバーでの準備はかなり厳しい状況でした。しかし、皆様のご尽力を賜り無事開催できました事に心



より感謝申し上げます。また、11月には中部評議会と合同メネット会を開催し、多くのワイズメンとメネットに御参加を頂きました。重ねて御礼申し上げます。12月はクリスマス例会を開催予定です。賛美の時は金沢長町教会 加藤牧師よりメッセージを頂きます。交わりの時にはメネット主催の楽しいゲーム大会をします。

新年1月は恒例の「ボジョレーヌーボーを楽しむ会」を中止し、ホテルでのオシャレな食事会に変更しました。今後も金沢クラブらしく「例会重視」を基本に楽しくワイズ活動を行っていきます。

## 前半期活動報告、ふりかえり

名古屋クラブ会長 谷川 修

名古屋クラブは、チャーター70年の今期、このことを念頭に活動を展開しています。今期の活動方針を、西日本区の大野理事の方針、山内部長の方針にのっとり



① 明日のリーダーを育てる。② 地域活動を地域の人々とともに

行うことで、認知度を高める。③ 若い力を吹き込むことで活性化を図る。④ IBC、DBC のみならず、広く交流を図る。⑤ 第一例会の充実⑥ 広報に力をいれる。⑦ YMCA 活動をバックアップする、とし、具体的な活動の留意点・計画として、① 第一例会を午後7時～8時半とする。② 夕食への期待を高めるため、八百彦と三甚という仕出し弁当を月ごと交互とする。お茶を用意する。③ 次に会長を担う、その準備というねらいをもって、その場に居合わせたら、閉会挨拶と点鐘を副会長にお願いする。④ 第一例会の前後に、70年記念事業に向けての相談を意識的に行う。⑤ 第一例会プログラム(ゲストスピーカー)は、最低3か月ごとに前もって決める。そのスピーカーは、第二例会において参加メンバーからも提案、協力を仰ぐ。としてスタートしました。

8月の第一例会は、日進の愛知牧場でバーベキュー例会を行いました。多くのゲストも参加、賑やかで楽しい例会でした。9月は、東京パラリンピックにパワーリフティングという種目で出場をめざす加藤 尊くんという若者のお話を聞きました。10月は、西村 清ワイズに、名古屋クラブの70年を語ってもらい、歴史を共有しました。11月は、中村名古屋YMCA 総主事から、名古屋YMCA が新たに事業展開を予定している日本語学校の構想を聞かせてもらいました。名古屋クラブの70周年記念事業として、どんな贈り物をしたら良いかのヒントを得ました。12月は、70周年記念例会の会場となるアイリス愛知を会場に、70周年記念例会のゲストスピーカーである大棟耕助氏率いるブレッジャー企画の若手のクラウンを招いて、クラウンと楽しむクリスマスナイトでした。スタート期に2名の新入会員、そしてさらに1名の新入会を迎えるうれしいスタートでしたが、残念なことに、河辺直前会長が重い病気で療養せざるをえなくなり、中部のEMC 主査活動に支障を来たして、各方面にご心配とご迷

惑をおかけしています。クラブ総員で、カバーすることを決めておりますので、ご勘弁を願えれば幸いです。

Yサ事業としては、チャリティーランでみたらしだんごの提供やチームスポンサー、チャリティーゴルフ、クリスマスキャロルのお手伝い、地域奉仕事業としては、発達に遅れのある路上生活者らの支援をしているNPO法人「からし種」の収穫の手助け、重度の障がい者の日中活動の場 NPO 法人愛実の会でのクリスマス奉仕などをメン・メネット協力で行いました。

年が明けると、いよいよ3月の70周年記念例会に向けて、忙しく準備をすすめることとなります。

ご承知のように、70周年記念例会は、年明け3月4日(日)にアイリス愛知で開催を予定しています。IBC、DBC クラブからも参加してもらって盛り上げてもらおうと思っていますし、交流会も併せて実施の予定です。また、そこで多くのワイズらと親交を深められることが今から楽しみであり、メンバーみんなの願いです。是非、みなさん こそぞってご参加のほど宜しくお願いいたします。

#### HAZU と楽しむクリスマス例会



## 名古屋東海クラブ半期の活動報告

名古屋東海クラブ会長 長谷川和宏



計画した重点取り組み項目ごとに会長独自の中間評価をしてみた。

( )内は開催月次です。

・Y・サ事業はチャリティーラン(11月)、チャリティーゴルフ(11月)とYMCA大会

(10月) **4.0**

・地域奉仕事業は学童キャンプ支援(8月)と中学校バスケット大会(8月)への参画 **5.0**

・EMC事業は工夫された第1例会(7~11月)と準備された第2例会(7~11月)を実施するも新規入会者ゼロ **5.0**

・国際・交流事業は合同例会(9月)、DBC交流会(11月)、中部部会(9月)、中部評議会(11月)メネット会(11月) **6.0**

・他にYMCAバザー(10月)補助、ジャガイモとコーンの販売(8~10月)根の上まつり(10月)、リーダー育成支援(7~11月)など忙しい前半戦であった。

・予定した事業活動計画が重すぎたかもしれないと感じている。

・**全体としての評価は5.0(10.0満点で)**・・・道半ばといった所である、後半ガンバロウト。

## 愉しく、思い出多い集会を目指して

四日市クラブ会長 塚本浩巳

現在会員数は、10名(内広義会員3名)です。20数名の時代から、紆余曲折あって今日に至りました。チャーターメンバーが不在となりました。YMCAが変わろうとしているとき、ワイズも「継続」を基本にして取組みたいと思っています。

会長標語「心を高くあげよう」は、讃美歌2編1番の題名から選びました。歓びの時も、悲しみの時も心を高くあげよう、という内容です。

今年4月から財団法人以外のYMCAの色々な職務を担うことになった小生に、最適な讃美歌と思っています。

会は愉しく、思い出多い内容になるよう、工夫したいと願っています。

## 名古屋グランパスクラブ上半期活動報告

名古屋グランパスクラブ会長 下村 明子



【Yサ・ユース】

①日和田キャンプ場ワーク(おもにキャンプ場整備)

7月8日～9日（オープン）／10月7日～9日（クローズ）

YMCA 日和田キャンプ場にて

②名古屋 YMCA 学童キャンプ支援（おもに食事提供支援）

7月24日から8月26日の間に3回実施

YMCA 日和田キャンプ場にて

③南山 YMCA バザー支援（出店：ポテト・メンチカツ・ナゲット）

10月29日 南山 YMCA にて

④国際チャリティラン（SO チームスポンサーと会場運営ボランティア）

11月4日 名城公園にて

⑤名古屋 YMCA クリスマスキャロル（会場設営）

12月23日 JRセントラルタワーズ前にて

#### 【地域奉仕・環境】

①仲田銀座夏祭り（竹細工とゲームブース出店：初出店）

7月29日～30日 名古屋 YMCA 前にて

#### 【EMC】

①クラブリーフレット作成

11月例会より作成計画の検討開始

#### 【国際・交流】

①京都東稜クラブ DBC 合同例会

11月11日～12日 長浜市にて

#### 【特別例会】

①新旧引継例会

7月18日 神沢 YMCA にて14名のメンバーでスタート

②卓話「伊藤雄哉氏：フリーディレクターから見る番組制作の裏側」

10月3日 名古屋 YMCA にて

③南山クラブクリスマス合同例会

12月2日 カフェ・プロフーモにて

上半期は年間予定表で計画した通りに活動が進みました。夏季と日曜日は会長不在が多い中、クラブメンバーのみなさんが協力して活動を進めてくださったことに感謝しま

す。

## 津クラブ上期活動報告



津クラブ会長 千賀直道

7月 総会 コメダ 3名出席

前期活動報告 会計報告

会長引継ぎ 亀野直前会長

千賀会長、今期活動計画

8月 喫茶店例会 県文化センター 3名

中部部会参加について

9月 18日（祝）千賀、薦田参加

中部部会金沢ニューグランドホテル



10月 11日（水）ジャガイモ販売



152ケース販売 レンタカー使用

鈴鹿市 津市内配達

11月 11日夕より 佐脇メンと懇談

30日 喫茶例会 3名参加

クリスマス例会の持ち方について

12月 16日18時より じんけ

クリスマス例会

津クラブの活動状況と予定を報告いたします。

## 金沢犀川クラブ上半期の活動報告

金沢犀川クラブ会長 北 肇夫



金沢犀川クラブが更に発展するように結束し、いっそう魅力的な活動を展開している。

1. 会長主題『ワイズの輪を広げよう！』

2. 活動報告

【第一例会】通常は第2木曜 19:00～21:00、ホテル金沢にて開催。

7月13日(木):キックオフ特別例会。卓話「第20回西日本大会に参加して」平口哲夫ワイズ。

8月10日(木):通常例会。卓話「プロ英語が14年目～金沢を語る～」菱田昭氏(英語通訳案内士)。

9月24日(日):メネット強調月間特別例会。金沢港・大野町ヤマト糶パーク“醬蔵(ヒシホクラ)”と“大野カラクリ記念館”などの散策。

10月12日(木):バーベキュー特別例会。一般の焼肉店で開催。

11月9日(木):ワイズデー特別例会。卓話「町家を使い続けるために」武藤清秀氏(1級建築士、歴史的建造物修復士)。

12月14日(木):クリスマス特別例会。メッセージ「神の信頼に包まれて」田口昭典牧師(日本バプテスト連盟金沢キリスト教会)。

【第二例会】通常、第4木曜 19:00～21:00、竹中チャペル(竹中歯科医院 3F)で議事中心に。会員増強という課題についての申し合わせを継続。

一部のクラブの報告が間に合わなかったことをお詫びいたします。

書記 西 信之

第21回中部合同  
メネット会の様子  
(湯涌温泉、  
[お宿やました]  
にて)

[編集後記]

第2号の発行が年を越してしまいましたこと、また、

